

〈中高6年間の教育理念〉

幅広い教養と豊かな感性を備え、多様な他者と協働し、
新たな価値や目的を創造できる人材を育成

(普通コース)

週あたり授業時数30時間(標準より+1時間)

中学校

リベラルアーツ*1を軸とする文理融合の探究的な学び

- ・ リベラルアーツの学びの中心となる「対話」を重視した授業を全教科で実施
- ・ 多面的に考察する力を育むため、教科間のつながりを意識した授業を実施
- ・ 感性を磨くとともに教養を深めるため、総合的な学習の時間に、音楽コースや高校の生徒との交流を実施

1年：総合+0.6時間
美術+0.2時間
音楽+0.2時間

高校の学びにつながる深い学び

- ・ 学習意欲と探究心を引き出すため、課題解決型学習や実験・実習を充実
- ・ 大学等外部の研究機関と連携した高度な実験・実習を体験
- ・ 高校のSSH研究成果発表会、海外交流事業等に参加

2年：数学+1時間
3年：理科+1時間

海外で活躍する人、異年齢の人など様々な人との出会いを通して価値観を育む学び

- ・ 卒業生による講演会、音楽科の定期演奏会等への参加、中高合同での文化祭

高校

スーパーサイエンス×リベラルアーツを軸とする文理融合の探究的な学び

〈SSHの取組例〉

- ・ 数学 夏の学校、探究講座、サイエンスツアー、理科特別講座、グローバルサイエンス交流会
国際交流事業、記念講演、海外共同研究、研究プロジェクト

*1 リベラルアーツ：特定の分野のみを学ぶのではなく、文理の区別なく幅広い分野を学び、定まった答えのない課題を解決していくために必要となる、多様性への理解を含む広い視野と幅広い教養を身に付けることを重視する教育。

(音楽コース) 個々の才能を最大限に伸ばし、現代社会とのつながりを意識できるアーティストを育成

週あたり授業時数32時間(標準より+3時間)

中学校

音楽家としての基礎力を養う専門的な学び

- ・ 専門的な音楽教育（音楽実技、音楽理論、ソルフェージュ）
- ・ 音楽ホールでの演奏経験
- ・ 国内外の一流の演奏家、音楽教育者による公開講座
- ・ 個人レッスン
- ・ 高校の定期演奏会、サマーコンサートへの参加

1年：音楽+2.2時間
2年：音楽+3時間
3年：音楽+3時間

リベラルアーツの視点を活かした学び

- ・ 芸術鑑賞、教科間のつながりを意識した学び、語学教育、情報教育

1年：総合+0.6時間
美術+0.2時間

海外で活躍する人、異年齢の人など様々な人との出会いを通して価値観を育む学び

- ・ 卒業生による講演会、普通コースとの交流、中高合同での文化祭

高校

音楽の専門家を育成するための専門教育

- ・ 充実した音楽の専門科目
- ・ 音楽ホールでの演奏経験
- ・ 国内外の一流の演奏家、音楽教育者による公開講座
- ・ 個人レッスン
- ・ 定期演奏会、サマーコンサート

愛知県立半田高等学校・附属中学校

〈中高6年間の教育理念〉

高い専門性と多角的な視点を持ち、挑戦し続けることにより
新たな社会を創出する人材を育成

週あたり授業時数31時間(標準より+2時間)

中学校

「課題研究」の授業を軸とした探究的な学び

- 1年生：各自の興味関心がある分野を発掘
- 2年生：中間発表とフィードバックでさらに深めたい課題を洗い出し
- 3年生：課題設定から成果発表会までの探究のプロセスを実践
- 高校生による探究成果発表会への参加、中高意見交流会の実施
- 高校のSSH事業と連携した外部人材の活用(探究発表会、各種コンクール、企業・大学等との交流)

1年：総合+1時間
 2年：総合+1時間
 3年：総合+2時間

各教科の学習での探究に必要なスキルを習得する学び

- 課題を設定する力やデータ分析の手法、メディアリテラシー等を習得

1年：理科+1時間
 2年：数学+1時間

体験的・実践的な国際理解教育によるグローバルな人材を育む学び

- 海外提携校との交流、海外現地研修、アウトプットを重視した英語学習

高校

①アントレプレナーシップ育成

〈SSHの取組例〉

…チェンジメーカーセミナー

①～③に共通する取組：課題研究

②トップサイエンティスト育成

…T S コース、サイエンスコミュニケーション、SSH自然科学部

③グローバルリーダー育成

…Logical Presentation講座、海外研修

愛知県立刈谷高等学校・附属中学校

〈中高6年間の教育理念〉

「私たちの実現したい未来」に向けて、高い志と責任感をもち、世界を視野に入れて
 活躍し、**時代を創ることのできる人材**を育成

週あたり授業時数31時間(標準より+2時間)

中学校

課題解決的な学習過程を重視した探究的な学び

- 各教科の学習で課題解決型学習に重点的に取り組む
 論理的に考える力、深く共感したり豊かに想像する力、伝え合う力の育成
 高校のSSH事業につながる理数分野の基礎力の育成
- 探究学習に必要な基礎力の育成、探究活動の充実
 リサーチ力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力等を育成
 身近にある課題に目を向け、その解決策を提案し、地域・社会への貢献を目指す

1年：理科+1時間
 2年：数学+1時間
 3年：国語+1時間

1年～3年：総合+1時間

地域資源を活用した教科等横断的な学び

- 刈谷市を始め近隣市町の産業・伝統・文化などの地域資源を、教科等の学習で積極的に活用

中学生と高校生が相互理解を深める協働的な学び

- 中高合同の行事の実施、SSH事業や国際交流事業など中学生が高校の企画に参加できる機会の充実

高校

自然科学と人文・社会科学の双方のアプローチから課題解決する文理融合型探究活動

〈SSHの取組例〉

- サイエンスデー、英語口頭発表会、海外研修、海外の高校とのオンライン交流、大学特別研究、企業との連携
- 探究系において、「課題研究」だけでなく、通常の教科・科目でも探究的な学びの徹底

愛知県立津島高等学校・附属中学校

〈中高6年間の教育理念〉

多様な文化を理解し尊重する精神をもち、**世界や地域社会の発展に貢献する**
探究心、確かな学力、思いやりを身に付けた、**たくましい人材**を育成

週あたり授業時数31時間(標準より+2時間)

中学校

国際バカロレア*1 (MYP*2) の趣旨を踏まえた主体的・協働的で探究的な学び

- 国際バカロレア (MYP) の導入を目指す
- 全ての教科等で国際バカロレアの趣旨を踏まえた「探究」「行動」「振り返り」の相互作用を通じた協働学習を実施
- 全ての授業を少人数で実施 (1クラス27名程度)
- 総合的な学習の時間で、多様な経験を重ねる活動を実施
海外フィールドワーク、中高合同での探究活動発表会、学習会
- 言語活動、国際理解教育の推進
英語合宿、海外語学研修、オンラインやVRを活用した海外生徒との交流
- 国際バカロレア (DP*3) につながる学びを実施
DPのカリキュラムであるTOK (知の理論)*4を参考にした学習：TOKジュニア
- 授業時間外の活動として奉仕活動 (国際バカロレア・Service as Action) を実施

1年～3年：総合+2時間

高校

国際探究科への学科改編、国際バカロレア (DP) の導入

- 普通科の一部を国際探究科へ学科改編(2025年度)
- 国際バカロレア (DP) の導入を目指す (2028年度予定)
- 英語合宿、海外語学研修、海外生徒とのオンライン交流、小学校での英語出前授業等の実施

*1 国際バカロレア：国際バカロレア機構（本部スイス・ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。グローバル化に対応できるスキルを身に付けた人材の育成を目的とする。世界150以上の国・地域の5,600校で実施されている。

*2 MYP (Middle Years Programme)：11歳から16歳を対象とした、青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラム。

*3 DP (Diploma Programme)：16歳から19歳を対象とした、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、**国際的に認められる大学入学資格が取得可能**となるプログラム。

*4 TOK (知の理論)：「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問いを探究するカリキュラム。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や他人との違いを自覚できるよう促す。

(出典:文部科学省 | B教育推進コンソーシアムHP)